

沖縄での夏の学校 台風の中で大成功！

西山文庫主催の第5回夏の学校は9月18～20日、沖縄在住の専門家の協力を得て、100名以上の参加で開催されました。全国15大学、DC3年から1回生までの幅広い参加がありました。

日本でも特別の風土と歴史をもつ那覇のまち・住宅を対象として、建築・住宅・都市を専攻する学生と研究者が、充実した「夏の学校教科書」と準備をされたプログラムにより、講義とフィールドワークから集中的に学ぶことができました。

<1日目 9月18日>

台風が接近していましたが、飛行機便には支障なく沖縄不二ホテルに集合し、いきなり「沖縄の

まるごとウォッチング」。バス2台に乗り込み、那覇市首里城公園と首里金城町の石畳道、那覇独特の聖域である御嶽、アメリカ空軍基地嘉手納飛行場周辺を見て回りました。備瀬ヒロ子さんと村上有慶氏の案内で奥深い沖縄の事情に短時間でふれることができ、沖縄が始めての学生も入門編をスムーズに完了。

夜は夕食を兼ねた交流会が開かれ、広原盛明理事長のあいさつがありました。そのあと、班構成は大学や学年を均衡にして組んでいましたので、知らないもの同士の席でしたが、恒例の松本さん(運営委員)の班対抗沖縄クイズをするなかで、はじめの緊張感がすっかりうち解けました。圧巻は

公開シンポジウム

関西の新都市型戸建住宅の動向

近年、関西の大都市周辺地域において活発に供給されている、戸建住宅群に着目し、敷地や住宅形態の特徴について、最新のデータを用いて報告をしていただきます。その後、関東の供給事例との比較を行います。フロアの意見を積極的に取り入れながら、関東・関西両地方における都市型住宅としての戸建の評価について討論します。

日時 12月15日(月) 18:30～20:30

会場 日本建築学会・建築会館
(東京都港区芝5-26-20)

内容 司会：海老塚良吉(都市基盤整備公団)
主旨説明：吉田友彦(筑波大学講師)

関西の新都市型戸建住宅の動向
森本信明(近畿大学教授)

関東の事例からみるコメント
小場瀬令二(筑波大学教授)

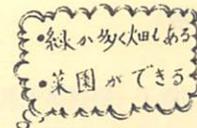
参加費 一般1000円、学会・文庫会員800円

問合せ TEL:03-3456-2050

共催 日本建築学会関東支部住宅問題専門研究委員会
NPO法人西山文庫



<壺屋地区>



もくじ

2003沖縄夏の学校	中林 浩・清水 肇	1
フォーラム 持続可能な住まいと都市の関係	海道清信	6
フォーラム フローからストック時代へのハウジング	長谷川洋	10
トピックス 不況下でも仕事の途切れない設計事務所	内山 進	13
会員/集落空間の管理について	斎藤雪彦	16
会員/九州の炭鉱住宅	安武敦子	16
文庫資料発掘サロン	坪田慎介・佐藤美弥	17
先生と私/西山先生のこと	梶浦恒夫	18